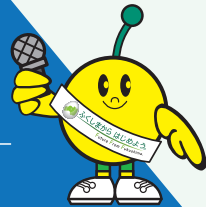


内堀知事に、県政への思いを聞きました。



うち ぼり ま さ お 内堀 雅雄 福島県知事

二期目の決意は

福島県は今、地震・津波・原発事故・風評という複合災害、そして、急激な人口減少、この二つの重い課題に直面しています。県民の皆さんの切実な声、県政への思いを踏まえ、福島県知事として、この課題に全身全霊で取り組んでいきます。

「複合災害」にどう取り組んでいきますか

まず、被災された皆さんの生活再建、生業・産業の再生、風評払拭のため、さまざまな手を尽くすこと、さら

には医療・介護サービスの確保、商業施設の整備、学校の再開、地域公共交通ネットワークの構築など、市町村や国と力を合わせ、きめの細かい施策を実行していきます。

また、福島イノベーション・コースト構想を踏まえて、ロボット、再生可能エネルギー、航空宇宙産業などの新産業を集積し、浜通り地方に多くの人々を呼び込み、魅力的な雇用の場を創出するなど、大胆な施策にも取り組んでいきます。

「急激な人口減少」にどう取り組んでいきますか。

福島県は、人口減少が全国でも厳しい状況にあるという「危機意識」を持つて、総合的な対策を進めます。

県全体の産業基盤を強化し、若者の定着・還流を促すための魅力ある雇用の場をつくっていくほか、切れ目のない結婚・出産・子育て支援の充実や新規就農者の受入体制整備、県内への移住促進に向けた支援など、「しごと」を創り、「人」の流れを生み出す施策を展開していきます。

「将来に向けて、どのような福島を創っていく」と考えていますか。

「チャレンジ県ふくしま」、これが理

チャレンジ県 ふくしま



プロフィール

内堀 雅雄 福島県知事

昭和39年3月26日生まれ(54歳)。長野県出身。東京大学経済学部卒業。平成13年福島県生活環境部次長。生活環境部長、企画調整部長、副知事を経て平成26年11月知事就任。

- ◇趣味／スポーツ観戦、音楽鑑賞
- ◇好きな言葉／進取果敢(しんしゅかかん)

想とする福島県の姿です。さまざまな課題を解決するために、私自身も、常に新しい挑戦をしています。私たち現役世代が挑戦することで、子どもたちの世代に「福島に生まれてよかった」と言われるような福島を創ることができると考えています。「福島といえば、チャレンジの県だよ」と、国内外の皆さんに言っていただけのように、これからも努力を重ねていきます。